

研究課題 (テーマ)		「鉄は熱いうちに打て！プロジェクト 第2弾」 -1年教養ゼミで産学協働型アクティブラーニング-									
研究者	所属学科等	職	氏名								
代表者	教養教育	准教授	清水 義彦								
研究結果の概要											
(概要)											
<p>本プログラムは、平成30年度前期の教養ゼミIの清水ゼミ15コマで実施した。清水ゼミでは、13名の学生が4つのチームに分かれ、2つの企業と課題・活動・評価を5コマずつ協働する課題解決型のキャリア教育プログラムを取り入れた。今回目指したのは、学生が「大学で学ぶ意義」に気づき、目的をもって日々の授業に取り組むという学生の「主体性」を引出す「場」の創出である。Future Skills Project 研究会の講座を本校新入生用にアレンジし、実施・検証した。</p>											
(結果と考察)											
<p>今回の効果検証の指標の1つとして、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力である「社会人基礎力」(経済産業省,2006)を用いた。この12の力への学生の意識の変容をt検定の手法で統計処理した。4件法(4ある、3少しある、2あまりない、1ない)で学生は自己評価した。下記の表はその結果である。今回目指したことは「学生の主体性を引き出すこと」である。以下の表で、1「主体性」に5%水準で有意差(効果量大)が現れた。また、「考え抜く力～疑問を持ち、考え抜く力～」の3つの力への学生の意識の変化が現れたことも有意差から推測できる。詳細は、「富山県立大学紀要第29巻」に投稿した論文をご参照いただきたい。</p>											
表 H30「社会人基礎力」に対する学生の意識の変容 事前(H30.4.12)・事後(H30.7.19)の平均値の差のt検定(N=13)											
No	質問項目	開始前		終了時		対応サンプルの差		有意確率			
		M	SD	M	SD	M	SD	t	df	p	d
■前に踏み出す力(アクション)～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～											
1	主体性(物事に進んで取り組む力)	2.46	0.52	3.08	0.64	0.62	0.77	2.89	12	.014*	1.06
2	働きかけ力(他人に働きかけ巻き込む力)	2.46	0.66	2.31	0.75	-0.15	0.80	-0.69	12	.502	-0.22
3	実行力(目的を設定し確実に行動する力)	2.77	0.73	3.00	0.71	0.23	0.73	1.15	12	.273	0.32
■考え抜く力(シンキング)～疑問を持ち、考え抜く力～											
4	課題発見力(現状を分析し目的や課題を明らかにする力)	2.62	0.65	3.15	0.56	0.54	0.88	2.21	12	.047*	0.89
5	計画力(課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力)	2.33	0.60	2.85	0.69	0.62	0.96	2.31	12	.040*	0.95
6	創造力(新しい価値を生み出す力)	2.00	0.71	2.77	0.83	0.77	1.09	2.54	12	.026*	1.00
■チームで働く力(チームワーク)～多様な人びととともに、目標に向けて努力する力～											
7	発信力(自分の意見をわかりやすく伝える力)	2.23	0.60	2.85	0.80	0.62	0.96	2.31	12	.040*	0.87
8	傾聴力(相手の意見を丁寧に聴く力)	3.08	0.49	3.31	0.85	0.23	0.73	1.15	12	.273	0.33
9	柔軟性(意見の違いや立場の違いを理解する力)	2.85	0.55	3.23	0.83	0.38	1.12	1.24	12	.240	0.54
#	状況把握力(自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力)	2.92	0.64	3.38	0.65	0.46	0.66	2.52	12	.027*	0.72
#	規律性(社会のルールや人との約束を守る力)	3.31	0.48	3.31	0.85	0.00	1.15	0.00	12	1.000	0.00
#	ストレスコントロール力(ストレスの発生源に対応する力)	2.46	0.78	3.15	0.99	0.69	0.63	3.96	12	.002**	0.78
今後の展開											
<p>今後も目指したいのは、少人数の教養ゼミの授業の中で、学生が多様な地域関係者(企業人、市民など)と直接対話や交流を通して、地域が抱える課題の解決に向けて主体的に課題解決する能力「工学心」を持った人材の育成を目指したい。そして、「地(知)の拠点整備事業」とベクトルを合わせたキャリア支援プログラムの1つとして常設できるよう平成31年度もこの事業を継続実施したい。そして、他のゼミを巻き込める体制づくりを目指したい。今年度は、北陸コカ・コーラボトリング(株)様とコーセル(株)様との協働が始まっている。</p>											